

こんぺいとう通信

2015

12

教室のみなさん、こんにちは (ノ^ノ)
 いよいよ今年も残すところあとひと月。「終わり良ければ総て良し」と言いますから、今年がよい年であるためにも、ラストスパートを頑張りましょうね
 (おもに自分に向けて言ってますけどww)。

.....
 ところで皆さん、「エフセキュア」という名前、聞いたことがありますか？

エフセキュア社は「トレンドマイクロ」や「シマンテック」と同じように、パソコンのセキュリティソフトを作っている会社で、本社はフィンランドにあります。その業界では世界的に名の知られた会社で、日本国内でも数多くの企業がエフセキュア社のセキュリティソフトを導入しています。

おもな取引先としてソフトバンクやNEC、日立などの大企業が名を連ねています。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 さて先月の初め、そのエフセキュア社に絡んだきわめて重大な事件が起きました。

同社に務める社員が、セキュリティ会社の持つ高いノウハウを悪用して、400人以上の一般の人たちの個人情報を故意に流出させたというものです。

もう少し具体的には、自分と思想信条の異なる人の投稿にフェイスブック上で「いいね！」を押した人たちについて、その非公開情報を盗み出してリスト化し、誰もが閲覧できる状態にさらしたとされる事件です。

これが、どれほどひどい事件なのかはお分かりいただけるでしょう。

消防士が放火して回るようなもの、あるいは医者が担当した患者の病名をリストにして閲覧板で回すようなものです。

セキュリティを守る会社がセキュリティを脅かすという、洒落にもならない事態です。

しかも、会社として事件の後始末の仕方が非常にまずく、結果としてヨドバシカメラやビックカメラのような量販店からは商品が撤去され、最悪日本からの撤退もあるのではないかと状況に追い込まれています。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 さあ大変。世の中は大騒ぎ…かと思えば、なぜかテレビや新聞はだんまりを決め込んでいますね。ややこしくなるので今回そのことには触れませんが、世の中の闇の深さを感じます。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 さて、すでに利用されている方たちはご存知だと思いますが、フェイスブックというのは実名で登録するのが基本となっています。

ただし名前以外の個人情報については、どこまでを公開するかはそれぞれの利用者に委ねられています。そして今回問題となるのは、非公開として設定していた内容が、自分の意思に反して流出させられてしまったという点です。

実際に流出させられたのは本名のほか、「勤務先」「出身校」「居住地」などだそうですが、個人情報としてはその他にも電話番号や家族構成、プライベートな写真など、実に様々な内容が含まれます。

フェイスブックを利用するということは、それらが流出する危険性と隣り合わせであるということが今回、明らかになりました。

うーん、恐ろしい…。
 自分で望んで公開しているならともかく、自分の意思に反して、きわめてプライベートな個人情報が世の中に拡散されてしまう可能性があるのです。

実際のところ、氏名や住所を流出させられた方たちの中には、自分や家族の身に何らかの危険が及ぶのではないかと不安な日々を送っている方もいらっしゃると思います。もし私がその立場だったらと思う

と、身が震える思いです。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 一度ネット上に流出した情報は、半永久的に消える
 ことはありません。ですから、ネットで情報を公開
 する際には、公開することのリスクを十分に吟味す
 ることが重要です。常に最悪の事態を想定し、情報
 の公開は最小限にとどめるべきだと私は考えます。
 そして今回被害に遭われた方々も、きっとそうされ
 ていたのだと思います。そのための「非公開設定」
 ですから。

でも、その大切な情報を守るための鍵を預けていた
 相手が泥棒だったわけです！

フェイスブック社も、まさかセキュリティ管理を依
 頼した会社に泥棒が潜んでいるとは思わなかったの
 でしょう。もはやフェイスブックのセキュリティは
 安全と言える状況ではなさそうです。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 今回の事件で、私たちは何を学ぶことができるでし
 ょう。「インターネットは怖い」というのは、一面で
 は確かにその通りだと思います。インターネットの
 力は強力です。個人の情報を一瞬にして世界中に届
 けることができます。よいことも、悪いこともです。
 ですから最悪の事態を避けるためには、〈インターネ
 ットを利用しない〉というのも一つの選択肢かもし
 れません。自動車事故に巻き込まれなくなければ、
 自動車を利用しないのが一番ですから。

しかし、自動車を一切利用しないというのが、現実
 的に可能でしょうか？インターネットは今や社会の
 中で自動車のような役割を果たしています。これを
 利用せずに生きることは、懐かしい時代に後戻りす
 るようなものだと思います。

また、歩道を歩いていても車にはねられることがあ
 るのと同様、インターネットを利用しないからとい
 って情報流出から完全に免れるわけではありません。
 年金番号やマイナンバーなど、私たちの個人情報
 はすでにデータ化され、管理されているわけですから、
 情報流出のリスクから完全に逃れることはできない
 のです。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 しかし、リスクをゼロにすることはできませんが、

少なくすることは可能です。

- 1) パソコンのセキュリティ設定をきちんとする。
- 2) 怪しげなサイトには近づかない。
- 3) 心当たりのない相手からのメール開かない。

これらは今までにもよく言われてきたことです。上
 記を守るだけで、自分のパソコンに泥棒が侵入して
 自分の情報を盗まれるリスクは大きく減らすことが
 できるはずですよ。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
 ところで今回の事件は、自分のパソコンから情報が
 流出したわけではありませんでした。

フェイスブックという SNS (ソーシャル・ネットワ
 ーキング・サービス=インターネット上で人と人との
 交流を楽しむサービス) に預けた情報が流出した
 のです。では、〈ホームページの利用やメールなどは
 利用するが SNS は利用しない〉という第 2 の選択肢
 はどうでしょう。そもそも SNS のようなサービスは、
 お互いの情報を共有することでつながりを持ち、楽
 しむというサービスです。そうであれば、SNS の利
 用をやめてしまえば、個人情報流出のリスクはかな
 り減らせるはずですよ。

これについては、SNS を利用するメリットとデメリ
 ットを天秤にかけて、各自が判断することでしょう。
 ただここでも私は、リスクを取ることを恐れすぎて
 その先にある楽しみを放棄してしまうのはナンセン
 スだと思っています。教室の皆さんがラインのグル
 ープトークを楽しんでいるのを拝見して、強くそう
 感じる次第です。

そこで4つめの注意点は〈必要以上の個人情報
 はネットに出さない〉です。あなたが情報を預けよう
 としている相手は、いつかあなたを裏切るかもしれ
 ない。世界的なフェイスブックでさえそうだったの
 です(フェイスブック社が裏切っ
 たわけではありませんが)。そのことを常に念頭に置きまし
 ょう。これこそが今回の事件の教訓だと思います。

.....
 11月号が発行できず、惜しくも皆勤賞を逃してしま
 いました (^; その代わりに、というわけではありま
 せんが、今年最後はロングバージョンでお届けしま
 したが、お楽しみいただけただけでしょうか。来年も懲
 りずに書き続けますので、お付き合いくださいね。